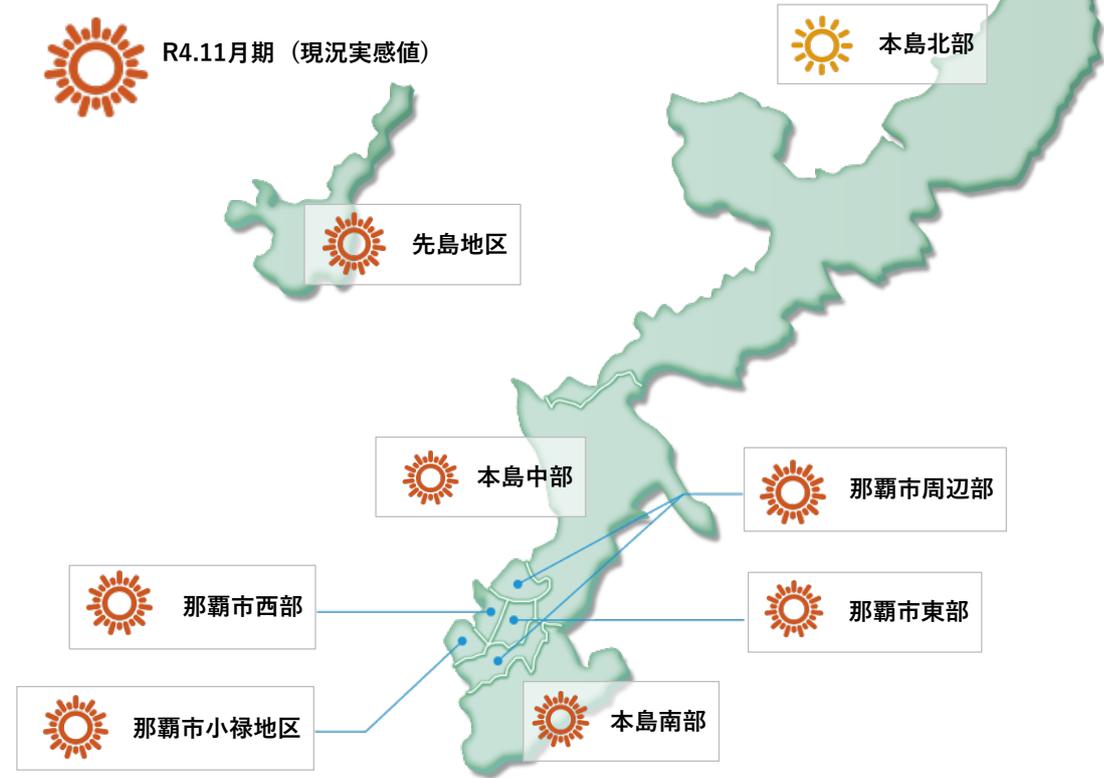


沖縄県（住宅地）



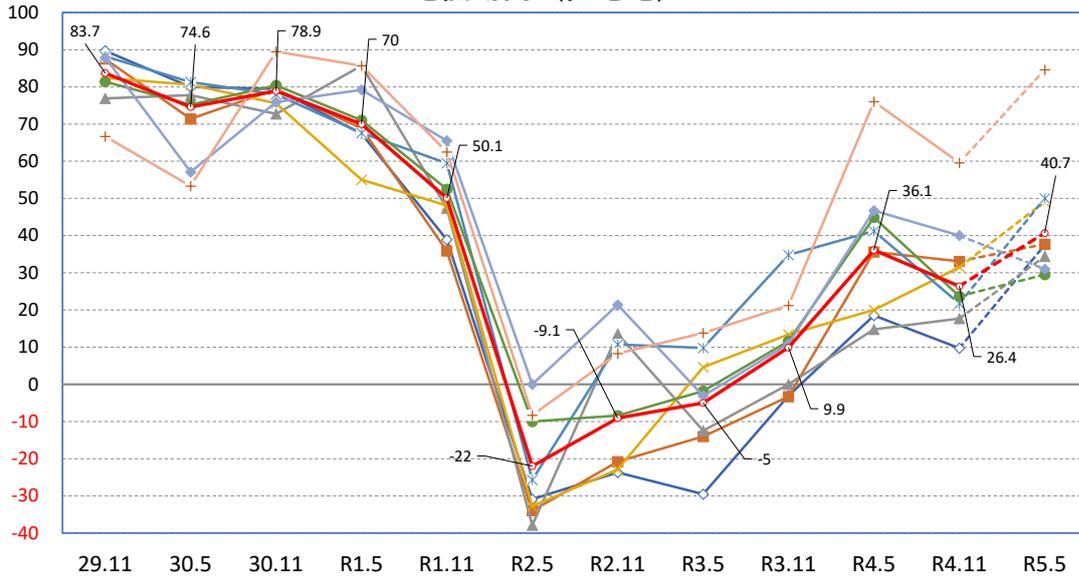
エリア	R3.11月期	R4.5月期	R4.11月期 (現況実感値)	R5.5月期 (予測値)
沖縄県全域	☀️	☀️	☀️	☀️
本島北部	☁️	☀️	☀️	☀️
那覇市周辺部	☁️	☀️	☀️	☀️
那覇市東部	☁️	☀️	☀️	☀️
那覇市西部	☀️	☀️	☀️	☀️
那覇市小禄地区	☀️	☀️	☀️	☀️
本島中部	☀️	☀️	☀️	☀️
本島南部	☀️	☀️	☀️	☀️
先島地区	☀️	☀️	☀️	☀️

不動産市場レポート

住宅地における過去半年間（R4.5.1～R4.11.1）の地価動向に関する各エリアのDI（実感値）は、前回に引き続き全エリアがプラスとなり地価が上昇基調にあることを示している。前回+70Pを超えていた先島地区は引き続き+60Pと高い値を維持している。他地区は概ね前回と同程度ないし若干の減少であったが、このうち那覇市周辺部は前回よりも+10P超の伸びとなった。なお、回答の内訳をみると、本島北部地区と先島地区では「下落」「やや下落」のマイナス回答がなかった。

住宅地の今後半年間（R4.11.1～R5.5.1）のDI値（予測値）は、本島北部以外の地区では上昇感の高まりを予測しており、全エリアでプラスを示す結果となっている。本島北部は他地区よりも「横ばい」の予測割合が多く、今後は安定的に推移すると捉えている方が多くいるとみられる。

地価動向（住宅地）

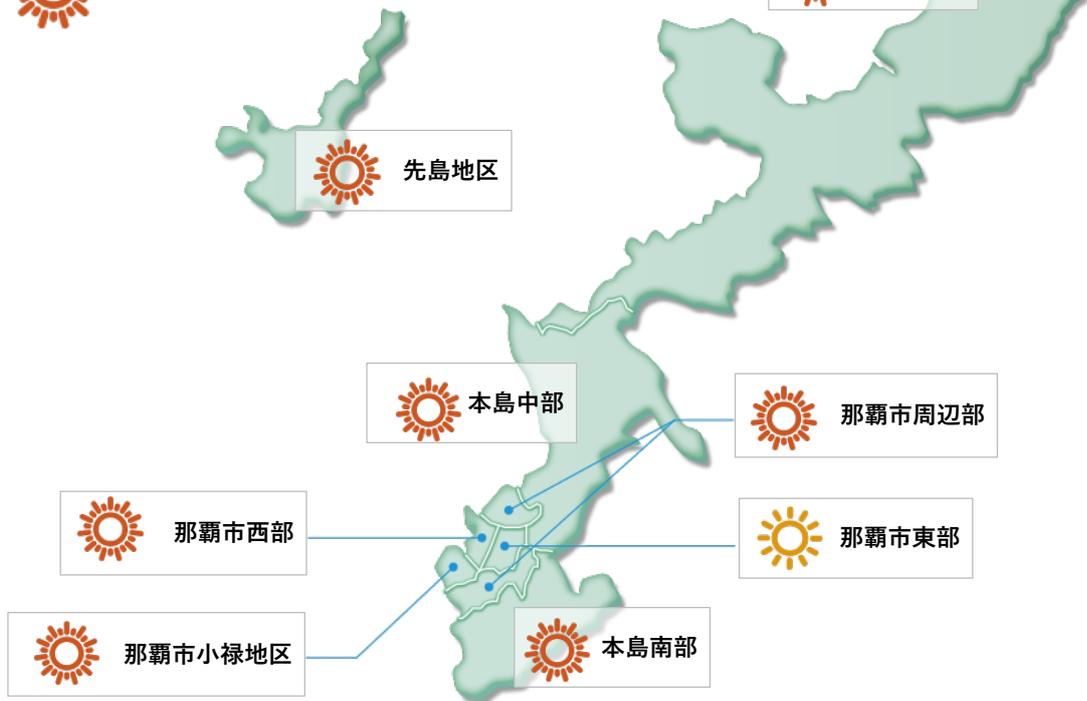


- 那覇市西部
- 那覇市東部
- ▲ 那覇市小禄地区
- × 那覇市周辺部
- × 本島南部
- 本島中部
- ◆ 本島北部
- + 先島地区
- 県内全体

沖縄県（商業地）



R4.11月期（現況実感値）



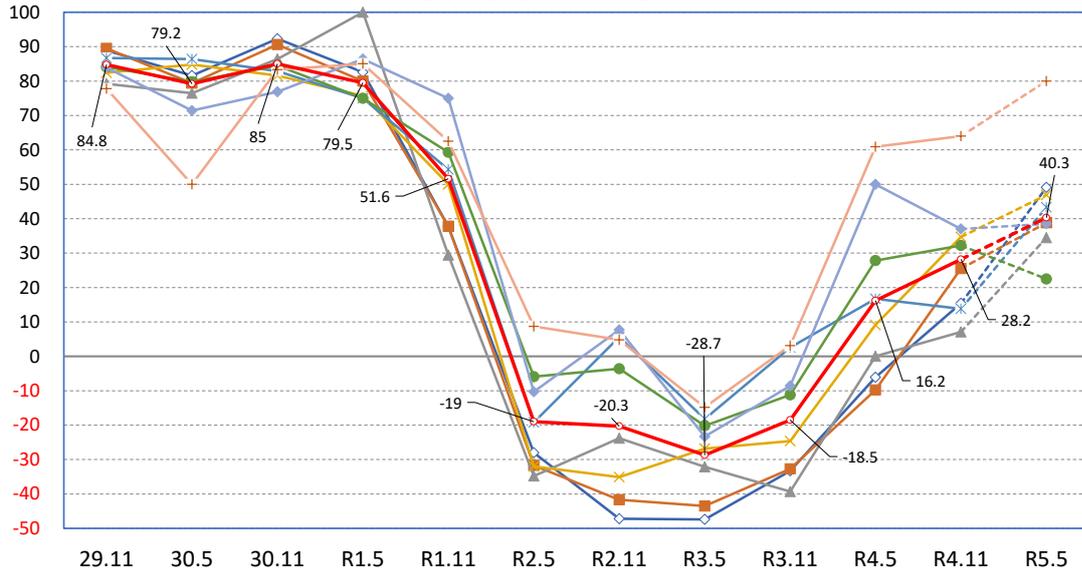
エリア	R3.11月期	R4.5月期	R4.11月期 (現況実感値)	R5.5月期 (予測値)
沖縄県全域				
本島北部				
那覇市周辺部				
那覇市東部				
那覇市西部				
那覇市小禄地区				
本島中部				
本島南部				
先島地区				

不動産市場レポート

商業地における過去半年間（R4.5.1～R4.11.1）の地価動向に関する各エリアのDI（実感値）は、前回マイナスだった那覇市西部・那覇市東部、±0Pだった那覇市小禄地区もプラスに転じ、全エリアが上昇を実感する結果となった。特に先島地区は+60Pを超える高い値を維持しており、県内全体の平均DI値を引き上げている。そんな中、本島南部・北部は若干数値を落としており、那覇市内の回復が影響を与えている可能性がある。

今後半年間（R4.11.1～R5.5.1）のDI値（予測値）は、全エリアで引き続きプラス値を示す結果となっており、地価の上昇が予測されている。一方で、実感値との比較では、本島中部は減少、本島北部ではほぼ横ばいとなっており、エリア毎に見通しが若干異なっているとみられる。

地価動向（商業地）



- ◇ 那覇市西部 ■ 那覇市東部 ▲ 那覇市小祿地区 × 那覇市周辺部 × 本島南部
- 本島中部 ◆ 本島北部 + 先島地区 ○ 県内全体

沖縄県（軍用地）



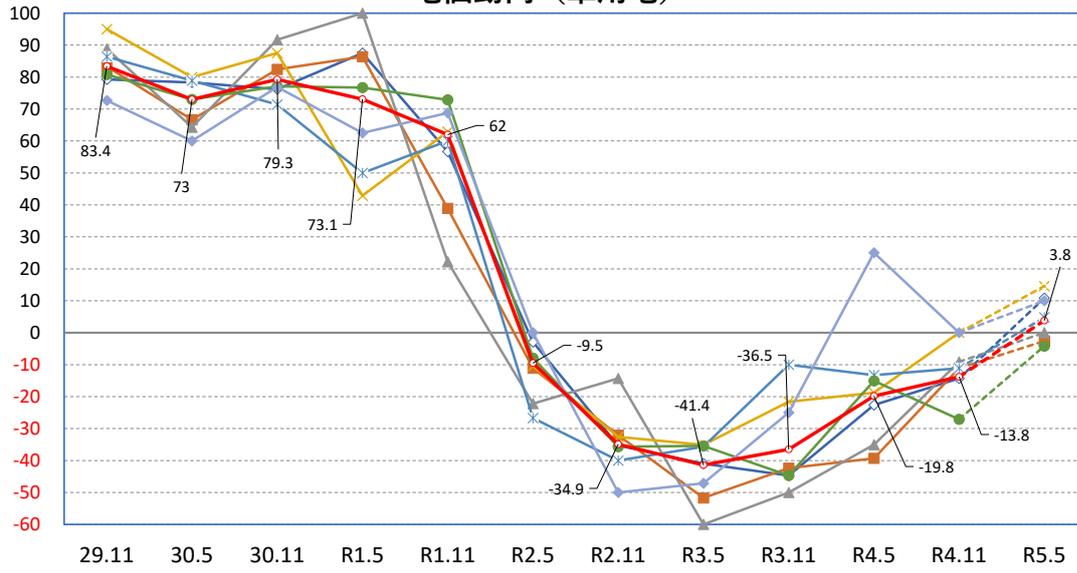
エリア	R3.11月期	R4.5月期	R4.11月期 (現況実感値)	R5.5月期 (予測値)
沖縄県全域				
本島北部				
那覇市周辺部				
那覇市東部				
那覇市西部				
那覇市小禄地区				
本島中部				
本島南部				
先島地区				

不動産市場レポート

軍用地における過去半年間（R4.5.1～R4.11.1）の地価動向に関する各エリアのDI（実感値）は、前回プラスだった本島北部が±0と勢いを失い、全エリアで上昇を実感できないという結果になった。エリア別にみると、那覇市周辺部では前回よりも改善し-16.1Pから±0に転じたほか、本島中部・北部を除くエリアではマイナスではあるもののDI値が改善しており、下落感が続く状況下ではあるが、徐々に和らいでいる傾向にあるとみられる。

今後半年間（R4.11.1～R5.5.1）のDI値（予測値）を確認すると、全エリアで改善が見込まれている。このうち、那覇市東部・本島中部では引き続きマイナスであるが、那覇市小禄地区は±0、他地区はプラスに転じると予測されており、取引価格の回復が期待される結果となった。

地価動向（軍用地）



- 那覇市西部
- 那覇市東部
- ▲ 那覇市小禄地区
- ✦ 那覇市周辺部
- × 本島南部
- 本島中部
- ◆ 本島北部
- ◇ 県内全体